

同時資料配布先:

大阪経済記者クラブ
大阪科学・大学記者クラブ
学研都市記者クラブ

2019年7月2日

公益財団法人 地球環境産業技術研究機構

**未来社会を支える温暖化対策技術シンポジウム in 関西
開催のご案内**

当機構は、9月26日(木)、大阪科学技術センター大ホールにおいて、当機構の最新の研究成果についてご報告するシンポジウムを開催いたします。

2020年から実施されるパリ協定の目標達成に向け、各国において地球温暖化防止へ向けた取り組みが進められていますが、抜本的に温室効果ガスを削減するためには、革新的技術の開発が欠かせません。

当機構は設立以来、抜本的なCO₂削減を実現するための革新的エネルギー・環境技術の研究開発を行ってきており、その研究成果を適宜、情報発信してきました。

加速する国際的な温暖化対策・長期戦略を踏まえ、今後の政策立案や技術の実用化推進に役立つ知見を広く提供することを目的として、昨年に引き続き、大阪において標記のシンポジウムを開催いたします。

1. 開催趣旨

来年2020年、温暖化対策に関する国際枠組み「パリ協定」が実施に移されます。我が国は、長期的な温室効果ガス低排出型発展を目指し「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略」を策定し、国連に提出しました。このように、今世紀の世界をどう構築するかに向け、長期温暖化対策やグリーン成長に関する議論と取り組みが国内外で活発化しています。

当機構は設立以来、抜本的なCO₂削減を実現するための革新的エネルギー・環境技術の研究開発を推進するとともに、地球温暖化対策シナリオを作成して政策提言につなげてまいりました。

本シンポジウムでは、当機構の研究領域であるCCS技術^{※1}、バイオリファイナリー技術^{※2}、無機膜^{※3}を用いた分離・精製技術の研究開発や温暖化対策のシナリオ分析等の最新の研究成果についてご報告いたします。また、特別講演として、川崎重工業株式会社 水素チェーン開発センター長の西村元彦様をお招きし、「2020年技術実証開始 国際水素サプライチェーン構築に向けた川崎重工の取り組み」と題してご講演いただきます。さらに、今年からはポスターセッションを開催し、多くの方々に当機構の研究者とお話いただく機会を持っていただけるようにします。

地球温暖化問題やその対策技術にご関心をお持ちの多くの皆様のご参加をお待ちしています。

※1 CCS: Carbon dioxide Capture and Storage。発電所や製鉄所の排気ガスからCO₂を分離・回収し地中に貯留する技術

※2 バイオリファイナリー: バイオマスからバイオ燃料や化学品を生産する技術

※3 無機膜: 水素社会に不可欠な水素の分離・精製などへの適用が期待されるセラミックや金属製の薄膜

2. 開催概要

主催: 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構(RITE)

後援: 近畿経済産業局、公益社団法人 関西経済連合会、公益財団法人 新産業創造研究機構、

(予定) 公益社団法人 日本化学会、公益社団法人 化学工学会、
公益社団法人 日本農芸化学会、一般社団法人 エネルギー・資源学会、
一般社団法人 日本エネルギー学会

日時: 2019年9月26日(木) 13:00~17:25 (受付開始 12:30)

会場: 大阪科学技術センター 大ホール

参加費: 無料

プログラム:

- ・特別講演: 2020年技術実証開始 国際水素サプライチェーン構築に向けた川崎重工の取り組み
川崎重工業株式会社 技術開発本部 水素チェーン開発センター
センター長 准執行役員 西村 元彦
 - ・講演 1: 長期脱炭素化に向けたエネルギーシステムのあり方 –電気と水素の役割–
システム研究グループリーダー 秋元 圭吾
 - ・講演 2: 持続可能な社会の実現を目指したバイオリファイナリー生産技術の開発
バイオ研究グループリーダー 乾 将行
 - ・講演 3: CO₂分離回収技術の実用化に向けた開発状況と今後の展開
化学研究グループ副主席研究員 余語 克則
 - ・講演 4: CO₂地中貯留の実用化に向けての安全管理技術開発の取り組み
CO₂貯留研究グループリーダー 薛 自求
 - ・講演 5: 水素社会に向けた無機膜実用化への取り組み
無機膜研究センター副センター長 山口 祐一郎
- (詳細はパンフレットを参照願います。)

ポスターセッション:

15:00~17:00 の間、7階 702号室で開催します。この間にご自由にポスターをご覧ください。

3. 参加登録

参加を希望される方は、RITE ウェブサイト <http://www.rite.or.jp> よりお申し込み下さい。

4. プレス登録

取材を希望される報道関係の方も、事前に参加申込みをお願いいたします。やむを得ず当日受付となる場合は、本人確認のため名刺をご持参下さい。



Research Institute of Innovative
Technology for the Earth

本件に関するお問合せ先：

(公財) 地球環境産業技術研究機構

企画調査グループ 広報・産業連携チーム 川口、大西、辰巳

TEL : 0774-75-2301 FAX : 0774-75-2314

未来社会を支える 温暖化対策技術シンポジウム in 関西

2019年9月26日(木) 13:00 ~ 17:25(受付開始 12:30)

大阪科学技術センター(OSTEC) 大ホール
(ポスターセッションは 702 号室)

入場無料

主催：公益財団法人 地球環境産業技術研究機構

後援：近畿経済産業局、公益社団法人 関西経済連合会、公益財団法人 新産業創造研究機構、公益社団法人 日本化学会、
(予定) 公益社団法人 化学工学会、公益社団法人 日本農芸化学会、一般社団法人 エネルギー・資源学会、一般社団法人 日本エネルギー学会

SCOPE

来年 2020 年、温暖化対策に関する国際枠組み「パリ協定」が実施に移されます。我が国は、長期的な温室効果ガス低排出型発展を目指し「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略」を策定し、国連に提出しました。このように、今世紀の世界をどう構築するかに向け、長期温暖化対策やグリーン成長に関する議論と取り組みが国内外で活発化しています。

当機構は設立以来、抜本的な CO₂削減を実現するための革新的エネルギー・環境技術の研究開発を推進するとともに、地球温暖化対策シナリオを作成して政策提言につなげてまいりました。本シンポジウムでは、加速する国際的な温暖化対策・長期戦略を踏まえながら、当機構の最新の研究開発成果についてご報告いたします。

プログラム

- 12:30 受付開始
- 13:00～13:05 開会挨拶 専務理事 本庄 孝志
- 13:05～13:10 来賓挨拶 近畿経済産業局 資源エネルギー環境部長 石垣 宏毅
- 13:10～13:40 特別講演 **2020年技術実証開始**
国際水素サプライチェーン構築に向けた川崎重工の取り組み
川崎重工業株式会社 技術開発本部 水素チェーン開発センター
センター長 准執行役員 西村 元彦
- 13:40～14:20 講演1 **長期脱炭素化に向けたエネルギーシステムのあり方**
ー電気と水素の役割ー
システム研究グループリーダー 秋元 圭吾
- 14:20～15:00 講演2 **持続可能な社会の実現を目指したバイオリファイナリー生産技術の開発**
バイオ研究グループリーダー 乾 将行
- 15:00～15:40 コーヒーブレイク ポスターセッションを7階702号室で開催

ポスターセッション
コーヒーブレイクから17:00までの間、7階702号室でご自由にポスターをご覧いただけます。
- 15:40～16:20 講演3 **CO₂分離回収技術の実用化に向けた開発状況と今後の展開**
化学研究グループ副主席研究員 余語 克則
- 16:20～17:00 講演4 **CO₂地中貯留の実用化に向けての安全管理技術開発の取り組み**
CO₂貯留研究グループリーダー 薛 自求
- 17:00～17:20 講演5 **水素社会に向けた無機膜実用化への取り組み**
無機膜研究センター副センター長 山口 祐一郎
- 17:20～17:25 閉会挨拶 常務理事 河上 豊

アクセス

大阪科学技術センター (OSTEC)

8階 大ホール

7階 702号室 (ポスターセッション及びコーヒーブレイク)

■ 地下鉄四つ橋線「本町」駅 28号出口より北へ徒歩5分

■ 地下鉄御堂筋線「本町」駅 2号出口より西へ徒歩8分

お申し込み

RITEウェブサイト

<http://www.rite.or.jp> よりお申し込みください。

